

第 26 回 福岡県合同輸血療法委員会報告書

2023 年（令和 5 年）2 月 16 日（木）

2023 年 6 月発行

福岡県合同輸血療法委員会

福岡県保健医療介護部

福岡県赤十字血液センター

発刊にあたって

25年の歴史がある福岡県合同輸血療法委員会活動は、新型コロナウイルス感染拡大のため、令和2年度は集会を自粛し、開催を取り止めたが、令和3年度はWEB会議にて開催致しました。

この間感染は終息すること無く、波状に続いています。そのような状況下で在宅訪問のニーズが高まり、在宅輸血をされるクリニックの数も増加しています。そのため今年度は在宅輸血についての取り組みを厚生労働省の血液製剤使用適正化方策調査研究事業に応募して採択されました。その内容を今年はウイズコロナでの集会として報告しました。

また特別講演として長崎大学病院細胞療法部の長井一浩先生に「I&A 受審は医療機関に何をもたらすか？」をご講演いただきました。会議には中～大規模施設からの皆様ご参加されており、そのような施設では日本輸血・細胞治療学会の外部評価であるI&Aの受審が望まれます。

是非ご一読いただき、各医療機関で今後どのような対応が出来るのかについて、皆さまが考えていく契機にいただければと思います。

また併せて今後の福岡県合同輸血療法委員会のあり方について、ご意見をいただければ幸いです。

2023年6月

福岡県合同輸血療法委員会を代表して
福岡大学病院 輸血部長 熊川 みどり

目 次

1. 日程・場所	4		
2. 参加医療機関等	5		
3. 司会挨拶	7		
4. 開会挨拶	福岡県合同輸血療法委員会代表世話人 (福岡大学病院 輸血部 部長)	熊川 みどり	7
5. 挨拶	福岡県保健医療介護部 医監	佐野 正	8
	福岡県赤十字血液センター 所長	松崎 浩史	9
6. 第1部：活動報告				
	テーマ：「輸血搬送装置（ATR）を用いた輸血基幹病院とクリニック間の連携による 在宅輸血医療の均てん化を図る」			
演 者	(1) 「ATR 貸し出し事業」		10
	福岡大学病院 輸血部	熊川 みどり		
	(2) 「ATR 貸し出し事業に伴う在宅輸血研修会報告」		13
	福岡大学病院 看護部	辻 雄大		
	(3) 「ATR を利用したクリニックの報告」		18
	福岡大学病院 輸血部	熊川 みどり		
	(4) 「在宅輸血に関するアンケート集計結果報告」		21
	聖マリア病院 輸血科	大崎 浩一		
7. 第2部：報告				
	「血液製剤の使用適正化に関するアンケート」集計結果報告		27
演 者	聖マリア病院 輸血科	大崎 浩一		
8. 第3部：講演				
	「I&A 受審は医療機関に何をもちたらすか？」		37
演 者	長崎大学病院 細胞療法部	長井 一浩		
9. 閉会挨拶	52		
参考資料	53		